

令和2年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究推進経費 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援経費 <input type="checkbox"/> 個人研究支援経費
プロジェクトの名称	指導－評価の一体化を目指した単元デザインシートの開発
報告者氏名・所属・職名	齊藤留美・北海道教育大学附属特別支援学校・教諭
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	北村博幸・北海道教育大学函館校・教授 紀藤典夫・附属特別支援学校・校長 加藤順也・附属特別支援学校高等部・教諭 山田俊寿・附属特別支援学校中学部・教諭 前野景子・附属特別支援学校中学部・教諭 金木彩子・附属特別支援学校小学部・教諭 小島洋平・附属特別支援学校小学部・教諭 渡辺拓生・附属札幌中学校ふじのめ学級・教諭

研究内容及び成果の概要

学習指導要領が改訂され、全国の特別支援学校においても、育成を目指す資質・能力の整理や、主体的・対話的で深い学びの視点に関する実践等、学習指導の充実を目指した研究が多く進められている。しかし、主体的・対話的で深い学びの実現によって資質・能力が育成されているかという視点での評価の在り方については課題がある。そこで、本研究では、主体的・対話的で深い学びの視点から育成を目指す資質・能力を育むための単元計画、育成を目指す資質・能力が育まれているかの評価の在り方について検討し、単元の計画－指導－評価－改善シート（単元デザインシート）を開発することを目的とした。

単元を計画する際には、単元デザインシートを作成し、育成を目指す資質・能力を踏まえた単元目標や、単元において目指す主体的・対話的で深い学びの姿、資質・能力を育むための手立て等を整理した。附属特別支援学校では、地域と連携・協働する視点、教科横断的な視点をもって単元を計画した。授業実践から、これらの視点は、主体的・対話的で深い学びの姿を引き出すことにつながることや、資質・能力の育成に効果的に働くことが示唆された。また、附属特別支援学校、附属札幌中学校ふじのめ学級の授業実践から、各校において授業づくりの際に大切にしている視点を盛り込んだ単元デザインシートを作成・活用することで、目標やねらいについて教師間で共通理解を図ることや、児童生徒の学びの姿を多面的に捉え、その情報を基に支援を考えることができ、授業改善につなげることができた。

また、開発した単元デザインシートを活用した授業実践を、附属特別支援学校第2回動画配信による公開研究会において配信した。今後も資質・能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びの視点を整理した指導－評価の一体化モデルの構築に向けて、さらに追究していきたい。

図1 附属特別支援学校単元デザインシート

成果の公表の状況

- 【著書】北海道教育大学附属特別支援学校、令和2年度研究紀要、2021.
- 【学術論文】

教育現場で活用可能な分野・教材等

単元デザインシート

配布又はダウンロード可能な資料
冊子体（研究紀要 50部）

問い合わせ先
 代表者：齊藤 留美
 電話：0138-46-2515（学校） FAX：0138-47-8729（学校）
 mail：rumi.saito@h.hokkyodai.ac.jp